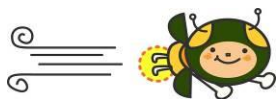


国崎クリーンセンター啓発施設指定管理業務 業務の実施状況及び見学者の状況

（令和2年度 概要版）

目 次

1. くにっぺからのメッセージ	1
2. 「つながり」を「アクションの輪」へ	2
3. 運営事業の紹介	2
(ア) 学ぶ・知る 機会の提供	
(イ) 地域連携	
(ウ) 広める活動	
(エ) その他	
4. 事業運営体制	10
(ア) 運営体制	
(イ) 職員のスキルアップ	
5. 見学・貸館状況	11
(ア) 見学・出前での利用状況	
(イ) 各室別利用状況(催事・有料・減免利用含む)	
(ウ) 新型コロナ感染拡大予防対策	
6. 12年間の人数・売上の推移	13
7. 収支状況	14



1. くにっぺからのメッセージ

第3期指定管理事業（5年間）の4年目である令和2年度は、新型コロナウイルス感染症に大きく影響された1年となりましたが、施設組合のご指導の下、「コロナに負けるな！」を合い言葉に、職員一同、常に前向きな施設運営をさせていただきました。

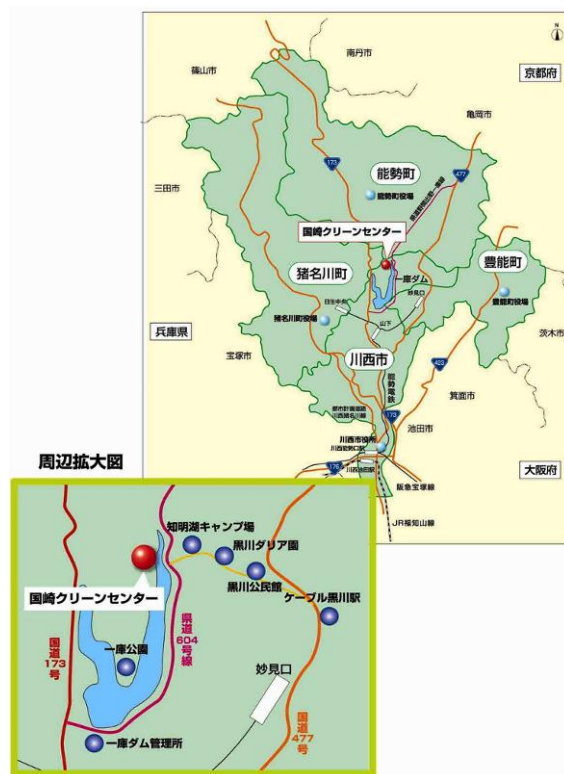
具体的には、臨時休館や団体や学校からの見学が中止となる中、ご自宅や学校から、パソコンやモバイルデバイス等で仮想的に施設見学を可能にした“バーチャル施設見学”を新たに構築し、本施設のホームページやGoogleマップから体験できるようにしました。他にも講演会やごみ減量の具体的な実践方法をオンライン配信するなど、創意工夫により啓発活動に努めました。また、SDGs（持続可能な開発目標、“2030年までに達成すべき17の目標”）を掲げ、地域と連携した活動も継続しています。

ご好評いただいているファミリーフリーマーケットは、屋外（多目的広場）に会場を移し、12月に漸く実施することができました。平素よりのコロナ対策である検温や手指消毒に加え、無料シャトルバスの運行においては、乗車人数を定員の半分とし、2台に増便しました。一方、日常で好評のリユース事業“かえっこバザール”と“ベビー用品リユース”については、残念ながら制限を設けての運用となりましたが、新たにおもちゃを組み込んだ楽しい啓発プログラムも開発し実施しました。

さらに、新たな活動クラブ（ガラスRグループ、里山メイキング、環境科学技術塾）も発足し、次世代育成に関連した事業展開（小中学生向け“環境科学技術塾”）や地域の活動団体と連携したオンライン催事（北摂里山の日）も展開しています。

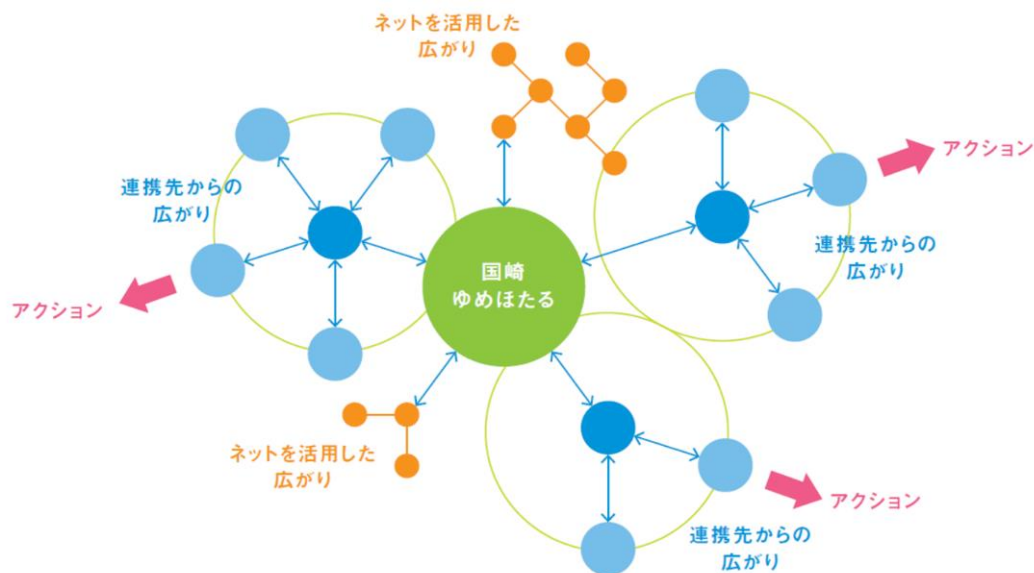
里山保全活動については、ゆめほたる里山クラブメンバーを中心に、里山保全作業の他、ミツマタ試験植栽地管理や除間伐材の利活用、里山林アトラクション、里山保全講習会そしてエドヒガン見学会を開催しています。

今後も、地域の皆様からのご期待やご支援を大切に、職員一同、感謝の気持ちで事業活動の更なる充実を図る所存です。



2. 「つながり」を「アクションの輪」へ

第2期までに得た「つながり」を本施設の目的のために活用しています。第1、2期を合わせた8年間の実践における「つながり」の成果をさらに深みのある活動へと発展させ、施設組合や構成市町の目標である「ごみ減量化」・「持続可能な社会」へ向けた意識を高める取り組みを実践します。「つながり」の先には、ゆめぼたるの啓発活動に資するポテンシャル（技能・能力、製品、サービス、人材等）を持つ個人や団体・組織が数多くあります。そのポテンシャルを本施設との連携の中で再発見していただき、「つながり」の場所において、新たな「ごみ減量化」・「持続可能な社会」へ向けた啓発活動への取り組みを実践していただくほか、情報ネットワーク（Facebook活用、ブログ「ごみ減量アイデア集」情報発信等）も活用し、「ごみ減量化」・「持続可能な社会」へ向けた「アクションの輪」を広げることを目指します。



3. 運営事業の紹介



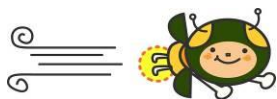
（ア）学ぶ・知る機会の提供

団体見学対応・調整

コロナ禍においても可能な限り団体見学を受け入れ、各団体のご要望に柔軟に対応しました。SDGs やリターナブルびんについての解説なども盛り込み、持続可能なライフスタイルについて一緒に考え、具体的な行動となるヒントを持ち帰ってもらえるように取り組みました。

令和2年度の1市3町小学4年生の団体見学は、9校 583名でした。その他の団体見学は9団体、72件、632名。





企画展示

ロビーや見学通路を利用し、多角的な視点で環境について考えてもらえるよう啓発に努めました。他施設とも連携し、コロナ禍での環境啓発方法を工夫しました。



講演会

講師を招いて、講演会形式で環境に関心のある人や活動を考えている人たちへの情報発信と、必要な情報を入手できるような場を提供しました。コロナ禍で日程変更等が重なり、3月に集中しました。

- ① 12月20日 「科学技術教育について」 信州大学学術研究院教授 村松 浩幸氏
- ② 3月13日 「地域のための獣害対策セミナー」 兵庫県立大学准教授 高木 俊氏、森林動物研究センター研究員 太田康之氏、京都大学准教授 高柳 敦氏、NPO 法人里山里山問題研究所代表 鈴木 克哉氏、おすそわけハンター 中 博司氏
- ③ 3月19日 「知明湖キャンプ場への木質バイオマス設備導入研修会」(共催事業) 井筒 耕平氏
- ④ 3月20日 「京都大学 全国の一般廃棄物処理施設調査 説明会・意見交換会」 浅利 美鈴氏他
- ⑤ 3月21日 「マシンガンズ滝沢と考えるごみ問題～清掃員からみた景色～」 滝沢 秀一氏、「繊維リサイクル」繊維リサイクル技術研究会 木村照夫氏



ゆめほたる講師による講座

一市三町に在住または勤務されている方を中心に、本啓発施設で行われるリサイクル系のワークショップ教室で指導いただく講師を募集・登録し、多くの講師に活躍いただいています。講師登録者 37名(令和3年3月末時点・更新含む)

	回数	参加人数	内容
木工教室	67	192	里山間伐材・廃材・廃家具活用でアップサイクル。
椅子の張替え教室	16	53	実習により、物を大切にする暮らし方を広める。
レザーリメイク	50	337	不用レザー製品から必要な物へアップサイクル。
和布リメイク	14	63	不用な着物や和布を小物や吊飾りへアップサイクル。
廃ガラスで遊ぼう、トンボ玉	27	82	廃ビンをランプや小物にアップサイクル。
エコクッキング	1	6	鍋帽子を使ったエコクッキングを実践。

	回数	参加人数	内容
天体観望会	2	93	夏と冬に星空観察を楽しむ。
分解ワークショップ	2	26	小型家電を分解し素材ごとに分別。
里山フラワーアレンジメント	8	120	季節の花で環境意識の醸成。
里山ヨガ	16	156	里山を眺めながらのヨガで環境意識の醸成。
環境科学技術塾 (プログラムで宝さがし、特別講演会)	4	102	プログラミング体験。
里山珈琲講座	2	14	里山と珈琲を楽しむ。
カホンレッスン会	10	49	木工教室で作成したカホンで演奏練習。
クラフトバンド	9	45	再生紙でできたエコな素材で身の回りの小物を作る。
228 件 1,338 人 前年度参考 290 件 1,782 人			

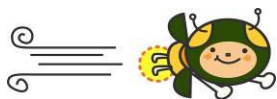
※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和2年3月7日～5月31日まで休館し、講座は6月から開始しました。



(イ) 地域連携

地域と連携し、講座や展示などで里山の魅力発信やエシカル消費について啓発を行いました。

	開催日	連携先	内容
1	6/13～7/5	兵庫県立人と自然の博物館	企画展示『里山に棲む-森の忍者-リス』
2	7/12、12/13	コラッジョ川西サイクリングチーム	第6回・第7回北摂里山スプリントヒルクライム大会
3	8月12日	ネイチャーランド KYOEI(能勢町)	天体観望会(ペルセウス座流星群観察)
4	8月29日	けやき資料館 ありなし珈琲	珈琲の楽しみ方教室
5	9月26日	けやき資料館 ありなし珈琲	珈琲の楽しみ方教室
6	10/3～10/4	トヨノつながる WE マーケット	里山保全徐間伐材の活用(展示協力)



	開催日	連携先	内容
7	11月1日	NPO 法人北摂里山文化保存会 公益財団法人 地球環境戦略研究機関、 株式会社宝塚すみれ発電 独立行政法人水資源機構 一庫ダム管理所、 知明湖キャンプ場 里山ベースハナビ トランジション川西 川西里山クラブ 北摂里山博物館運営協議会 能勢電鉄株式会社 コラッジョ川西サイクリングチーム 井筒塾	オンライン配信 北摂里山の日
8	11月1日 3月21日	京都超 SDGs コンソーシアム 京都大学大学院 地球環境学堂 浅利美鈴研 究室 一般社団法人 里山デザイン 風の会 風人	傘アップサイクルプロジェクト 11/1 廃棄ビニール傘風づくり&風あ げワークショップ 3/21 風あげ大会(雨天中止)
9	2月20日	猪名川天文台運営委員会	冬の天体観望会
10	3月13日	兵庫県立大学、兵庫県森林動物研究センター、 NPO 法人里地里山問題研究所、京都大学	獣害対策セミナー
11	3月19日	知明湖キャンプ場	キャンプ場のエネルギーの事を考える 5時間
12	2/27~3/25	豊能町立図書館	The ギャラリー 『ゆめほたる環境イラ ストコンテスト作品展 & エコな風呂敷 の使い方展』
13	3月27日	猪名川町イナワイ	手作りカホンでの合同発表会(ゆめほ たカホーンズ & イナワイ)
14	3月21日	一般社団法人日本繊維機械学会 繊維リサイクル技術研究会 衣未来研究会、フェロー会	講演会、ポスター発表



(ウ) 広める活動

情報発信

コロナ禍においてもできる限りの情報発信を行いました。臨時休館期間の4月5月はブログ上でリサイクルや里山の情報を発信しました。11月1日の北摂里山の日では、地域の里山活動団体や企業、地域内の施設等と連携し、活動発表等をオンラインで発信しました。

12月にはフリーマーケットを多目的広場内において実施しモノを大事にする暮らし方の普及啓発活動に努めました。

ブログでの情報発信

ブログで積極的に情報発信を行いました。

屋外フリーマーケット

12月6日に新型コロナウイルス感染症対策を施し、多目的広場で使用したフリーマーケットを実施し、モノを大事にする住民の交流の場を提供しました。出店数は44店。無料シャトルバス乗車定員を半分に設定し2台運行することにより、安全に施設にご来場いただけるよう配慮しました。



広報の実施状況

① 新聞・情報誌・net への広報

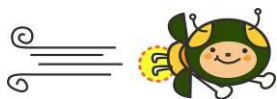
地域情報誌	新聞	会員誌	ウェブ サイト	FAX リリース	TV・ ラジオ	雑誌	総数
2	4	4	5	0	3	1	19

② ブログ（※月別の掲載数） <http://kuniccyume.exblog.jp/>

及び メールニュース(※月別の情報発信数)

R2年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
ブログ	13	11	16	18	18	10	8	14	12	6	8	10	144
メールニュース	3	2	0	2	1	2	1	2	0	4	1	3	21

(※ホームページのアクセス状況などは、以下を参照 2020年8月～)



③ その他の広報告知

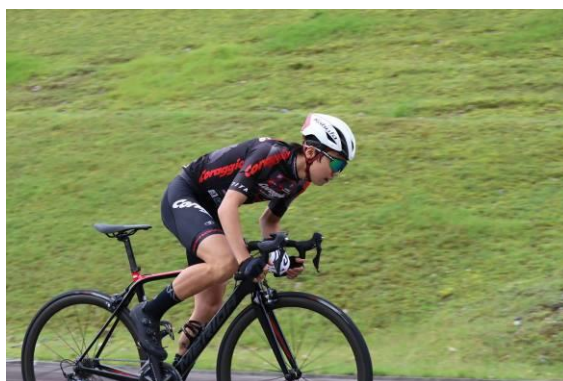
その他、facebook 連動で講座案内・ごみ減量アイデア等の情報発信を行いました。また、積極的なプレスリリースを行い様々なメディアでご紹介いただきました。



(エ) その他

① サイクルフェスタ

健康増進とエコを同時にかなえる自転車の大会を実施する団体への協力を行った。地域のサイクリングチーム『コラッジョ川西サイクリングチーム』との共催「北摂里山スプリントヒルクライム大会」(7月、12月)を開催。



② 地域貢献をめざす「環境情報センター」の活動について

地域に貢献する環境教育や環境学習についての研究を行う組織として啓発研究組織「環境情報センター」の活動を継続しています。「持続可能な社会形成」という本施設の目標に向けた道標と位置付け、ゆめほたるの啓発活動に関わる人々の知恵や経験を集成し、研究会や紀要の発行などを通して、今後の啓発活動に役立つ成果を探索しています。

- 廃棄物資源循環学会・環境学習施設研究部会（環境学習施設を考える会）事務局
より良い施設運営へ向けた活動として、全国の環境学習施設とも交流を図り、研修会等を実施しています。「環境学習施設を考える会」（平成28年12月7日設立）は、廃棄物資源循環学会の研究部会として承認され、学会の研究部会として活動しています。国崎クリーンセンター啓発施設・ゆめほたる「環境情報センター」はその事務局を担っています。

【 環境学習施設を考える会のWEB展示会 】

第31回 廃棄物資源循環学会研究発表会参加 9月16日～9月18日

- 「研究調査事業の受託」 環境学習機能及びその運営改善を目的に、京都大学（浅利美鈴研究室）より研究調査を受託し、全国の一般廃棄物処理施設へのアンケート調査を実施しました。その調査結果の説明会・意見交換会（3/20）も開催しました。

③ クラブ活動支援

各工房での地域住民のクラブ活動および国崎クリーンセンター内里山保全活動をサポートしています。

ゆめほたる里山クラブ、里山クラブ木工班、エコッキングクラブ、トンボ玉クラブ、ガラスR+、そばクラブ、環境科学技術クラブ、ゆめほたカホーンズ、里山ナイフメーキングクラブ、里山わんだふるくらぶ、Bicycle Project、石ころ（鉱石）クラブ、エコサポーター



④ コンテスト・コンクール開催



4月～8月
環境イラストコンテスト / 全応募作品の展示

8月1日～9月22日
読書感想文コンクール

⑤ フードドライブ

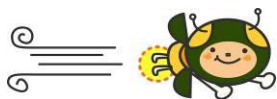
令和2年度に地域の方からご寄付いただいた食糧品は、9件95.4kgでした。フードバンク関西と地域のこども食堂へフードドライブし、食支援に活用していただきました。



⑥ 里山林維持管理事業の協力 [活動内容]

国崎クリーンセンター敷地内里山林の保全活動を行っています。活動は里山保全技術者養成講座修了生（ゆめほたる里山クラブ）と啓発施設がNPO法人日本森林ボランティア協会の協力のもと行っています。

- 活動期間：4月～3月
- 活動場所：自然学習ゾーン全域
- 定例活動：シカ柵点検・補修、スズメバチトラップ設置及び点検、エドヒガン実生マーキングマップ作成、下草刈り、エドヒガン苗植栽、椎茸ホダ木本組、ベンチ作り、外来雑草抜き取り、サイン板製作、なめこホダ木本組、危険木対策/点検・マーキング、常緑樹の除間伐、危険木対策/枯損木伐倒処置、常緑樹除間伐、ヒノキ間伐及び薪割台製作、昆虫ビオトープ作り、丸太階段補修、樹名札設置、エドヒガン苗保護柵設置、間伐材の玉切り搬出、サイン板 ふき取り清掃、エドヒガン公開地周辺整備



サイン設置



常緑樹の除間伐



林内点検確認



■ 定例活動以外の活動内容

1. 「里山保全技術者養成講座 2019」最終回実施
2. スキルアップ講習会「グリーンウッドワークセミナー」の実施
3. 催事“森あそび”・“エドヒガン見学会”の開催
4. ミツマタ試験植栽地 管理
5. 北の森獣害柵内ニホンジカ捕獲
6. 除間伐材の利活用



林内サイン



グリーンウッドワーク
講習会



エドヒガン見学会

⑦ 里山保全委員会の開催(6月・12月)

「里山林維持管理計画」及び「里山林整備構想計画」(事業主体：猪名川上流広域ごみ処理施設組合)に基づく里山保全の良好な活動を維持するため、当該指定管理事業の支援機能として有識者・研究者・教育関係者らによる「里山保全委員会」を設置しています。国崎クリーンセンター敷地内里山林の適切な保全活動を推進する上での取組の方向性を検証するとともに、活動に対する指導やアドバイスを受けています。令和2年度はコロナ禍のためオンライン会議としました。

急峻な地形、近年の気候変動による大雨の頻発などといった状況を踏まえ、防災・減災といった側面から臨機応変な保全維持管理を行っています。令和元年に試験的に植えた100株の“ミツマタ”の経過観察やメンテナンス作業などの育苗をしながら研究を進めています。里山保全ボランティアと協働で保全活動に努めました。

{里山保全委員}(※敬称略 令和3年3月末現在)

服部 保(兵庫県立大学名誉教授)

山本 博(NPO 法人日本森林ボランティア協会)

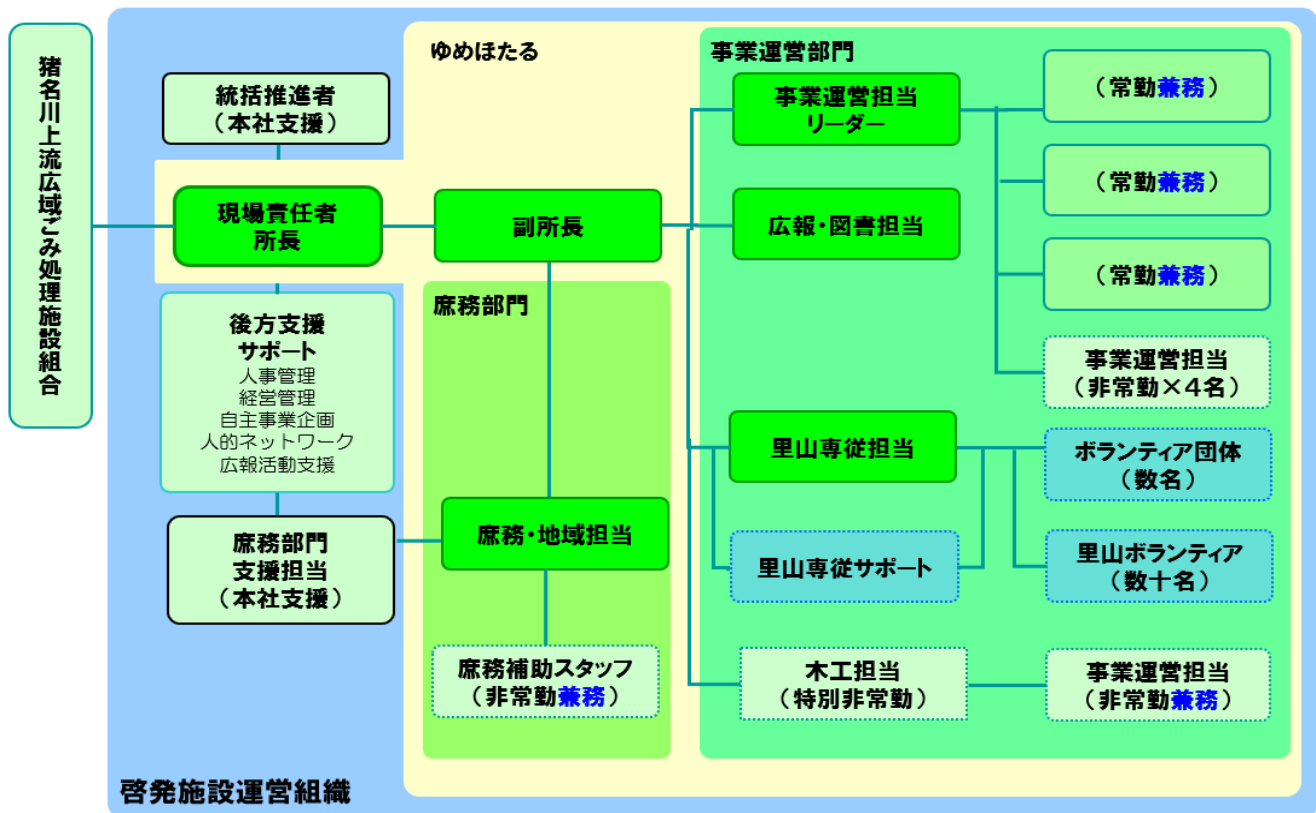
小林正義(住友ゴム工業㈱企業の森づくりCSR担当)

高木 俊(兵庫県森林動物研究センター)

森脇由佳(啓発施設職員 樹木医)

4. 事業運営体制

(ア) 運営体制

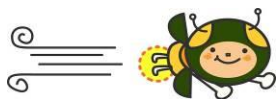


(イ) 職員のスキルアップ

各種環境系の検定等を受験し、知識向上へ向けた努力を継続しています。

【環境系 検定等合格者在籍一覧】

エコ検定	6人	／	3R・低炭素社会検定	5人
環境カウンセラー	2人	／	環境社会保全士	1人
ふろしき包み結び指導者	1人	／	リユース販売士	1人
カラーコーディネーター3級	1人	／	家具製作技能士2級	1人
家具製作技能士1級	1人	／	罌獵狩獵免許	1人
ドローン検定3級	4人	／	ドローン検定2級	2人
ドローン検定1級	2人	／	こども環境管理士2級	1人
地球温暖化防止コミュニケーター	1人	／	インテリアコーディネーター	1人
職業訓練指導員	1人	／	環境教育インストラクター	1人
木材加工用機械作業主任者	1人			



5. 見学・貸館状況

(ア) 見学・出前での利用状況

月	総利用者数	見学出前	各室利用	備 考
4月	0	0	0	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館
5月	0	0	0	新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館
6月	983	799	184	一般見学、出前写真展、ワークショップ
7月	1,145	680	465	小学校団体見学、各種講座、多目的広場利用
8月	1,863	652	1,211	小学校団体見学、夏休みワークショップ、多目的広場利用
9月	2,044	711	1,333	小学校団体見学、各種講座、多目的広場利用
10月	1,470	813	657	小学校団体見学、各種講座、多目的広場利用
11月	2,006	576	1,430	地域連携オンライン催事、小学校団体見学、多目的広場利用
12月	1,460	117	1,343	催事、各種ワークショップ開催、多目的広場利用
1月	379	164	215	各種ワークショップ、一般見学
2月	463	113	350	各種ワークショップ、一般見学
3月	1,738	1,139	599	催事、各種ワークショップ、地域出前展示
令和2年度合計	13,551	5,764	7,787	(単位:人)
前年度比	43.5%	29.6%	66.7%	

＊新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための全国緊急事態宣言措置のため4月5月臨時休館。

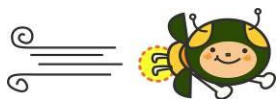
(イ) 各室別利用状況(催事・有料・減免利用含む)

施設名称	利用回数 (件数)	利用者数 (人)	おもな利用
研修室	75	1,730	講演会、団体見学、各種講座
軽作業室	43	239	講座、ワークショップ、クラブ活動等
制作工房	44	188	講座、ワークショップ、クラブ活動等
修理工房	113	810	講座、ワークショップ、クラブ活動等
講座室	7	69	川西市出前講座、会議、講師控室
視聴覚室	4	23	会議使用、自衛消防訓練、講師控室
会議室	7	123	リユース家具内覧、抽選会
多目的広場	67	4,959	屋外フリマ、少年サッカー、少年ラグビー
合 計	360	8,141	

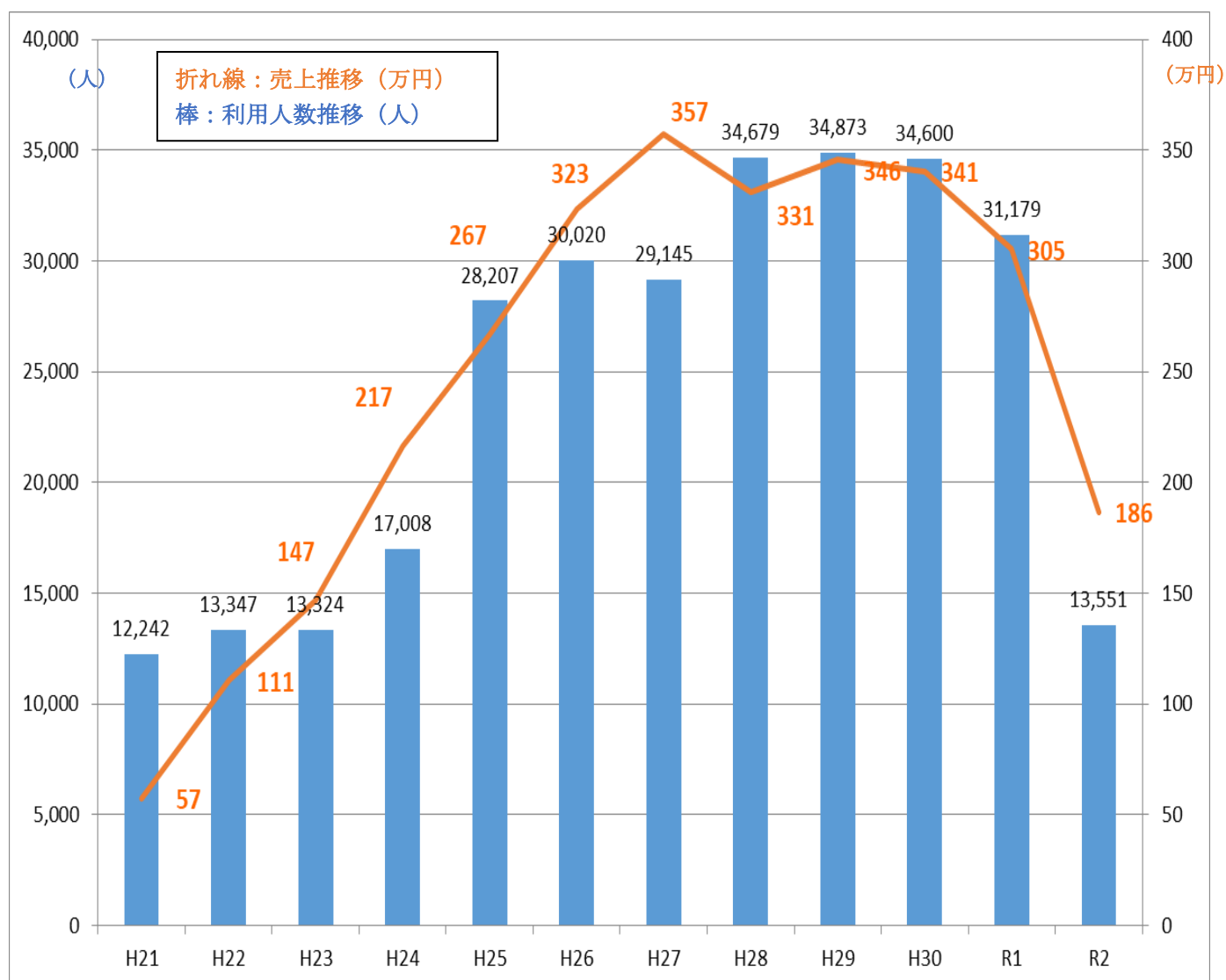
*1 団体が同日に複数の施設を利用した場合は、施設毎に回数と人数を計上しています。

(ウ) 新型コロナウイルス感染症拡大予防対策

- 4/1 ~ 6/2 臨時休館 (5月6月の催事を中止)
- 6/3 ~ 制限を設け運営 (催事中止、一般見学、クラブ活動のみ対応)
- 7/1 ~ 通常運営 (講座・貸室を再開)
- 8/4 ~ 飲食を伴う活動を制限した運営
- 9/1 ~ 通常運営 (9月催事中止、11月はオンライン催事へ変更、館内飲食可能)
- 12/1 ~ 飲食を伴う活動を制限した運営(12月催事は屋外で実施、3月フリマは中止、館内代替催事実施)



6. 12年間の人数・売上の推移



7. 収支状況

国崎クリーンセンター啓発施設運営指定管理事業の実施に係わる収支状況（令和2年度）			
収 入(円)		支 出(円)	
項 目	金 額	項 目	金 額
指定管理料	67,280,430	人件費	39,509,635
講座・講演会参加費等	1,170,800	事務費	2,938,305
雑収入	686,284	物件費	1,963,655
		管理費	4,571,828
		事業関連費	8,744,637
		一般管理費	5,124,408
		中計(支出総合計)	62,852,468
		消費税	6,285,246
合 計	69,137,714	合 計	69,137,714